

17-(1).教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

①高等学校教諭一種免許状（福祉）

高校における「福祉」教員の育成を目指して

福祉教育によって醸成された豊かな人間力、福祉マインドをもって、これからの福祉社会を担う人材育成者として、多面にわたる福祉に関する専門知識と技術を身に付けた教員養成を目指します。本学社会福祉学部では、福祉心理学科、医療福祉学科、健康福祉学科のいずれの学科においても高等学校「福祉」の教職課程が設置されており、高等学校普通免許一種免許状（福祉）が取得できます。

2003年度に高等学校に新教科「福祉」が創設され、福祉の学科や福祉系列をもつ総合学科だけでなく、ほかの多くの高校でも科目として取り入れられつつあります。

高等学校教諭一種免許状（福祉）をもち、教員採用試験に合格して各高校に採用された教員(高等学校福祉教諭)は、高校生に対し、社会福祉に関する専門的な知識と技術に関する教育を行い、高齢者や障害者などの支援に従事する人材の養成に努めます。

「福祉」の教員免許状取得にあたっては、社会福祉士又は介護福祉士の受験資格の取得が必要です。したがって社会福祉士資格取得関連の科目、又は介護福祉士資格取得関連の科目の履修が必須です。

その上で、教職職員免許法に定められた単位数を満たすために、「法令に定める科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」の履修が必要です。教職に関する科目には「教育実習」がありますが、4年次において、高等学校現場で行われる実習のことです。高等学校教員志望者として心身ともに健全であり、十分なコミュニケーション能力が必要です。

教員としての専門知識と教育技術をもち、さらなる資質の向上を目指して自主的、積極的に履修することを期待します。

②幼稚園教諭一種免許状

福祉・心理に強い「幼稚園教諭」の養成に向けて

本課程は複雑化・多様化する保育・教育ニーズに対応できる幼稚園教諭を目指し、幼児の心身の発達支援とともに、保育・教育現場における課題への適切な支援ができる専門的な知識と実践力を身に付けた幼稚園教諭の養成を目指しています。

本課程のカリキュラムでは保育・教育系の基礎科目に加えて、福祉系科目と心理学系科目の学びを通して、プラスの専門力を身に付けることができます。心理学系科目は子どもの心理学的な理解をはじめ、保護者へのカウンセリングなどのサポートにもつながります。また、福祉系科目は福祉社会の様々な場面での支援や、近年増加する発達障がい児などへのサポートにつながります。

本課程でのこのような学びを通して専門性を高め、福祉や心理にも精通した幼稚園教諭の養成に向けて取り組んでいます。

また、幼稚園教諭免許状の取得と共に、保育士資格の取得によって、認定こども園における保育教諭として活躍できる機会が広がります。